

# 学びのユニバーサルデザイン・ガイドライン(ver.2.0.)

## I. 提示に関する 多様な方法の提供

### 1: 知覚するための多様なオプションを提供する

- 1.1 情報の表し方をカスタマイズする多様な方法を提供する
- 1.2 聴覚的に提示される情報を、代替の方法でも提供する
- 1.3 視覚的に提示される情報を、代替の方法でも提供する

### 2: 言語、数式、記号のためのオプションを提供する

- 2.1 語彙や記号をわかりやすく説明する
- 2.2 構文や構造をわかりやすく説明する
- 2.3 文や数式や記号の読み下し方をサポートする
- 2.4 別の言語でも理解を促す
- 2.5 様々なメディアを使って図解する

### 3: 理解のためのオプションを提供する

- 3.1 背景となる知識を提供または活性化させる
- 3.2 パターン、重要事項、全体像、関係を目立たせる
- 3.3 情報処理、視覚化、操作の過程をガイドする
- 3.4 学習の転移と般化を最大限にする

学習リソースが豊富で、知識を活用できる学習者

## II. 行動と表出に関する 多様な方法の提供

### 4: 身体動作のためのオプションを提供する

- 4.1 応答様式や学習を進める方法を変える
- 4.2 教具や支援テクノロジーへのアクセスを最適にする

### 5: 表出やコミュニケーションに関するオプションを提供する

- 5.1 コミュニケーションに多様な手段を使う
- 5.2 制作や作文に多様なツールを使う
- 5.3 支援のレベルを段階的に調節して流暢性を伸ばす

### 6: 実行機能のためのオプションを提供する

- 6.1 適切な目標を設定できるようにガイドする
- 6.2 プランニングと方略開発を支援する
- 6.3 情報やリソースのマネジメントを促す
- 6.4 進捗をモニタする力を高める

方略的で、目的に向けて学べる学習者

## III. 取り組みに関する 多様な方法の提供

### 7: 興味を引くために多様なオプションを提供する

- 7.1 個々人の選択や自主自律性を最適な状態で活用する
- 7.2 課題の自分との関連性・価値・真実味を高める
- 7.3 不安材料や気を散らすものを軽減させる

### 8: 努力やがんばりを継続させるためのオプションを提供する

- 8.1 目標や目的を目立たせる
- 8.2 チャレンジのレベルが最適となるよう求める(課題の)レベルやリソースを変える
- 8.3 協働と仲間集団を育む
- 8.4 習熟を助けるフィードバックを増大させる

### 9: 自己調整のためのオプションを提供する

- 9.1 モチベーションを高める期待や信念を持てるよう促す
- 9.2 対処のスキルや方略を促進する
- 9.3 自己評価と内省を伸ばす

目的を持ち、やる気のある学習者